

**日本王者・菊井徹平、初防衛戦(8/14)へ向けLAで強化調整！**

8月14日、後楽園ホールでWBC世界スーパーフライ級7位・有永政幸選手(大橋)との初防衛戦が決まっている、日本スーパーフライ級チャンピオン(WBC世界同級14位)・菊井徹平。6月12日に日本を発ち、約1ヶ月間米国ロサンゼルス(LA)でマック・クリハラ氏の下でスパーリング主体のハードなジムワークに入っている。前回の王座奪取戦時より更なる上積みができる菊井は相澤選手、そして今回の有永選手と世界ランカーに連勝し、同門の木村章司(WBA世界スーパーバンタム級7位)に続いて世界タイトルを射程距離に入れたいところ。尚、ジムとして今回のタイトルマッチは1998年9月5日、星野敬太郎が日本ミニマム級タイトルV5を達成以来、世界、日本合わせて約8年ぶりのタイトル防衛成功がかかっている一戦でもある。

**[テレビ放映]フジテレビで当日深夜録画放映 CS放送フジテレビ739で実況生中継**

**猪崎かずみ選手、僅差の判定負けで日本女子王座を失う**

6月10日、新宿FACEで行われた日本女子フライ級タイトルマッチ。王者・猪崎かずみ選手(鴨居)対挑戦者・藤本りえ選手(KAKINUMA)の一戦は手数と攻勢面では挑戦者・藤本選手も有効打では王者・猪崎選手という展開になり、タイトルマッチに相応しい緊迫した内容の中、勝負は判定にもつれ込んだ。有効打数から王者・猪崎選手の防衛かと思われたが、公式採点は2-0で挑戦者・藤本選手を支持した。藤本選手は初の王座獲得。猪崎選手は2度目の防衛に失敗。猪崎選手の再起に期待したい。

**試合結果(06年7/2迄)****田畑(6/1)、鎌田(6/29)東日本新人王トーナメントベスト8進出！**

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
6月1日(木)後楽園	東日本新人王トーナメント	<b>田畑 光輝</b>	4回判定勝ち	ジェット勇(F.I)
・ベスト8入り狙う田畑。終始打撃戦の展開の中、左ボディーから左フックへの攻撃で確実にポイントを稼ぎ、3-0の判定勝ち！田畑5勝2敗2分				
6月9日(金)横浜	4回戦・フェザー級	<b>今関 佑介</b>	4回TKO負け	斉藤 晃一(大橋)
・デビュー戦の今関。思い切った攻撃で仕掛けるが、初回に右を浴びダウン。以降巻き返すも最終回に再度、右でダウンを喫してしまった。今関1敗				
6月9日(金)横浜	4回戦・ミニマム級	<b>大間 昇吾</b>	1回TKO勝ち	太田 光亮(大橋)
・デビュー戦の大間。スタートからデビュー戦とは思えない堂々たるボクシングを展開。一瞬のチャンスを逃がさず右で試合を決めた。大間1勝1KO				
6月9日(金)横浜	8回戦・Sフェザー級	<b>竹之下陽太</b>	7回終了TKO負	望月 義将(大橋)
・連敗脱出したい竹之下。初回、2回とダウン喫する苦しい展開。以降、打ち合いで流れを変えかけたが、最後は相手の強打が上回った。竹之下6勝11敗1分				
6月13日(火)後楽園	東日本新人王トーナメント	<b>小林 拓也</b>	4回判定負け	粉川 拓也(宮田)
・ベスト8入り狙う小林。打っては離れのボクシングで終始互角の内容も最終回に相手の攻勢を許してしまい、惜しい10-2の判定負け。小林2勝1KO3敗1分				
6月14日(水)後楽園	4回戦・フライ級	<b>落合 賢</b>	1回KO負け	和泉 孝史(横田スポーツ)
・2勝目を狙う落合。スタートは良いペースで戦っていたが、ロープに詰められたところで相手の強烈な左ボディーブローをもらってしまった。落合1勝1KO2敗				
6月14日(水)後楽園	4回戦・ライト級	<b>田川 智久</b>	4回判定負け	小林 和優(不二)
・2勝目狙う田川。初回はやや押される。2、3回は見方の難しい展開で最終回、前に出てポイントを奪ったが、惜しくも1-2の判定負け。田川1勝4敗1分				
6月29日(木)後楽園	東日本新人王トーナメント	<b>鎌田 剛幸</b>	4回判定勝ち	田口 雄平(角海老宝石)
・ベスト8入り狙う鎌田。サウスポー相手に初回から自分のペースで試合を進め、左を随所にヒットさせる。倒せなかったが内容的には完勝！鎌田5勝2敗2分				
7月2日(日)大森	4回戦・53.0Kg契約	<b>中野 敬太</b>	4回判定負け	倉方 陽介(ウィン三迫)
・デビュー戦の中野。ハイレベルな展開の中、前半2回はパンチをまとめたが、後半2回、相手のパワーにやや劣勢が響き、惜しくも0-2の判定負け。中野1敗				
7月2日(日)大森	4回戦・Sバンタム級	<b>入江 一哉</b>	1回KO勝ち	鈴木 重隆(全日本パブリック)
・初勝利を狙う入江(一)。スタートから持ち前の馬力を生かしたボクシングで相手を圧倒。右で相手を2度倒して40秒で試合を決めた。入江(一)1勝1KO1敗				

**試合予定****池田(7/17)日本ランク入り狙う！ 和田(7/13)A級資格獲得狙う！**

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
7月13日(木)	後楽園ホール	<b>和田 直樹</b>	8戦6勝1KO2敗	6回戦	ウェルター級
7月17日(月=祝)	新宿FACE	<b>池田 光正</b>	24戦13勝9KO8敗3分	8回戦	Sバンタム級(日本バンタム級8位と対戦)
7月24日(月)	後楽園ホール	<b>山形 英輝</b>	デビュー	4回戦	フェザー級
8月2日(水)	横浜アリーナ	<b>須山 草平</b>	6戦1勝5敗	4回戦	64.5kg契約
8月10日(木)	後楽園ホール	<b>田村 啓</b>	11戦3勝1KO7敗1分	4回戦	56.5kg契約
8月14日(月)	後楽園ホール	<b>菊井 徹平</b>	24戦20勝4KO4敗	10回戦	<b>日本Sフライ級タイトルマッチ</b>
同	同	<b>中川 健司</b>	5戦4勝2KO1敗	4回戦	スーパーフェザー級
8月16日(水)	後楽園ホール	<b>田畑 光輝</b>	9戦5勝2敗2分	4回戦	東日本新人王Tフライ級準々決勝
同	同	<b>鎌田 剛幸</b>	10戦5勝1KO2敗3分	4回戦	東日本新人王Tフェザー級準々決勝